



常陽中だより

令和6年 3月25日

尼崎市立常陽中学校

校長 民谷 洋二 No. 12

令和5年度 修了です！

来年度も「笑顔忘れず」「人にやさしく」！

本日、令和5年度の修了式を行いました。「修了」とは、「学業の一定の課程を終えること」です。修了式は生徒の皆さんにとって大きな「節目」であり、「今の学年で学ぶべきことをきちんと学んだ」ということになります。生徒の皆さんには、始業式(4月8日)の日、気持ちも新たに、元気な顔で登校してくれることを願っています！

(皆さんに話しておきたいのは)「集団での生活では、みんなが笑顔で過ごせるように、皆さんには、困っている人がいたら優しく声をかけてあげられる人になってほしい」という、お願いです。

毎日を笑顔で過ごすためには、楽しい気持ち、うれしい気持ちでいなくてはいけませんので、自分から、楽しいことやうれしいことをたくさん見つけて過ごしてほしいと思います。

そして、中学校などの集団で生活するところでは自分だけが笑顔になるのではなく、まわりの人も笑顔で過ごせるように、考えて行動してほしいと思います。

これからの人生の中で、他人を大切にできる人は、きっと自分も、まわりの人から大切にされるようになります。みんなが笑顔で過ごせるように、皆さんには、困っている人がいたら、優しく声をかけてあげられる人になってほしいと思います。

(3月4日 生徒朝礼での講話から抜粋)



感動の第40回卒業証書授与式！



3月8日(金)、第40回卒業証書授与式を、無事に挙行することができました。当日は、卒業生の皆さん一人一人の思いを込めた、素晴らしい式典となりました。

式場(体育館)に向かう階段の壁面には、卒業生からご家族の皆様への「感謝のメッセージ」が掲示されていました。「15年間育ててくれてありがとう」「いつも味方でいてくれてありがとう」など、素直な感謝の気持ちがあふれた、とても素敵なメッセージでした。



卒業生代表生徒による答辞は「感謝」と「決意」の気持ちにあふれ、心に響く答辞でした。

そして、卒業生による「卒業生 別れの歌」。歌の前に、卒業生から感謝の言葉が述べられ、サプライズで先生方へのメッセージが述べられました。3年間の思いを込めた卒業生の合唱は、式場にいたすべての人々に大きな感動を与える素晴らしい式歌でした。

どんな時でも、自分たちの姿を通して、常陽中学校の伝統を伝えてくださった卒業生の皆さん、素晴らしい卒業証書授与式を、本当にありがとうございました。卒業生の皆さんが「自分らしく」「笑顔で」、希望に満ちあふれた幸せな人生を歩んでいかれることを願っています。



常陽魂は私たちが受け継ぎます！



2年生、1年生の皆さんは、3月6日(水)に行われた卒業証書授与式の予行に全員が参加し、卒業生の姿を通して、常陽中学校の伝統を受け継いでくれました。

前日の会場準備や校外の清掃、式場の装飾など卒業生が最高の環境で式を行えるように、一生懸命頑張ってくれました。



「日々努力Week」を行いました。



第41期生徒会スローガンは「日進月歩 ~努力の継続が未来への一歩~」です。生徒会執行部の皆さんが「努力することの大切さ」を感じてもらうため、「日々努力Week」を企画してくれました。

いろいろな足跡の形をした用紙に「学校に関する努力したこと」などを書き、山の形をした台紙に貼っていました。みんなの努力で、「足跡」が山の頂上に到達しました!素晴らしい企画でした!



保護者の皆様、ありがとうございました。

この1年間、保護者の皆様方には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

来年度も「信頼される学校」を目指し、教職員全員で一丸となって、教育活動に取り組んでまいります。今年度と同様に、どうかあたたかいご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。



ありがとうございました。